

代表からのご挨拶

サンライズ・メイト・バート株式会社

代表取締役 井上明美

いつも皆様方には、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

春といっても朝夕はまだまだ冷え込みますが、皆様

いかがお過ごしでしょうか？

平成27年度の介護保険法改正が決定されましたが、これから団塊の世代の高齢化が進む中安心して生活が送れるような制度に変わるよう、切に望む次第でございます。

あちこちで、桜も咲き始めました。「花冷え」と申しますが、お風邪など召されませんようくれぐれもご自愛下さいませ。

サンライズの物語

歩行できなかつた方が

目の前で見せてくれた奇跡

～介護職だけが立ち会うことのできる、

素晴らしい瞬間～

先日、ある利用者様（男性）のお宅で、担当者会議を開催した時のこと。

その方は退院後、立位保持歩行が全く出来なくなり、ベッド上での生活となってしまいました。主治医に受診しても「原因不明」との診断。とても穏やかな方で、入院前までは、自転車で近所へ散歩することが趣味だった方だったのに・・・

当日、訪問リハビリのPT(理学療法士)の方が、ご本人の身体機能確認も含めて会議に参加されたのですが、ここで奇跡が起きます。

PTの方がご本人に歩行を促した時、何と1歩、2歩と歩き始めたではありませんか！！

ベッドにもどると、その方は肩を震わせ、顔をタオルで隠して泣き出してしまいました。

その場に居たご家族、サービス担当者、そして涙も



ろい私も涙・涙・涙・・・とにかく感動致しました。

介護サービスは「チームケア」が基本です。

いつも感じている事ですが、訪問入浴、訪問看護、訪問リハビリ、通所介護、福祉用具貸与、訪問介護等の専門的分野の視点、協力がいかに重要か・・・このような頼りになるチームの存在なしに、ケアマネの仕事など成り立ちません（勝手に“チーム井上”と心の中で叫んでいます）。

僭越ながら、私は介護職が天職だと思い込んでおりますが、この利用者様の熱い涙を見て、改めて「自分は素晴らしい仕事に携わっているのだ」と感じた次第です。それと同時に、責任の重さに身が引き締まる思いでした。私達ケアマネは、利用者様お一人お一人の声や専門職の皆様の意見に、真摯に耳を傾けていきたいと、改めて心に決めた瞬間でした。

幸せを呼ぶ

おむつの話

[第四回]

乾燥している時期でも、注意すべき「お肌の蒸れ」と「おむつ対応」

排泄ケア相談処 諒 代表 田中 明子

この原稿を書いている2月とはうってかわり、春の兆しが見えてきたものの、まだまだ肌寒いですね。

この時期、お肌は乾燥してカサカサ。しっかり保湿して保護しないと、大変なことに・・・乾燥して、肌が痒くて痒くてたまらない、という方も多いのではないのでしょうか。

ところが、こんな乾燥しがちな時期でも、実は蒸れているところがあるのです。

奥様を介護しているご主人様から、こんな相談がありました。この方は本当に細やかな介護をなさる方で、奥様を大切にされていることがよく伝わってきます。現在、奥様は殆どベッド上で過ごされていることもあり、テープ止めおむつとパットを使っています。うんちの時のときは別として、およそ4時間おきにおむつを換え、肌が荒れないように、褥瘡をつくらないように気をつけています。

ある日、お尻の端の肌が、うす皮が剥けたようになって

ていたため、皮膚科を受診しました。医師いわく「皮膚がふやけている」と。その原因は、蒸れであることが分かりました。

それを聞き、悩んでしまったご主人様は、「おむつが原因だろうか?」「蒸れないおむつはないか?」と考え、私たちに相談してこられたのです。

話を伺うと、使用しているテープ止めおむつやパットは、どれも通気性のあるタイプとのこと。ぐっしょりと汚れたおむつを、長時間着けているわけでもありません。なのに、なぜ蒸れてしまうのでしょうか?

私はご主人様から、おむつ交換時の様子を聞いてみました。うんちの時は洗い、それ以外の時は蒸しタオルで肌をきれいに拭いておむつを当てているとのこと。こちらが感心する位、とても丁寧なケアをされています。

でも、ちょっと考えてみて下さい。蒸しタオルを肌に当てた後、肌はちょっと湿っぽく感じなかったでしょうか?この状態ですぐにおむつを当てたら、どうなるのでしょうか?蒸しタオルを当てた後、一呼吸おいてからおむつを当てるか、または乾いた布で肌をそっと押さえて湿り気をとっておむつを当てるかしたら、蒸れはすいぶん少なくなるのではないのでしょうか?

まだまだ寒い時期、風邪予防のための防寒対策として、お部屋もお布団の中も暖かくしていることと思います。そして、エアーマットやベッドマット、シーツについても、材質によっては蒸れが生じることもあるでしょう。しかし、乾燥したこの時期でも、思わぬところに蒸れの原因はあるのですね。

スタッフ紹介

事務員 西本 康子

<自己紹介>

事務員として入社し、お仕事させていただいております。

過去3年ほど一般事務をしておりましたが、皆様にご迷惑をおかけしてばかりです。その反面、私としては大変楽しい毎日を過ごさせていただいております。

ヘルパーさん、サービス提供責任者、ケアマネージャー、利用者様に関わる皆様の実践的な話など、利用者様と直接関わらない私にはとても興味深く、勉強させていただいております。

今後も、皆様にはご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、楽しく勉強しながら仕事をしていきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

(代表・井上より)

パソコンの管理者として、忙しい業務の中、他の職員からSOSが入るたびに、ITに関する対応をしてくれています。ともかく人にわかりやすく教えるのが上手な人です。芯の強い一面もありますが、仕事は確実です。請求業務等を一手に引き受け、とても頼りになる存在です。



<プロフィール>

平成25年1月入社

出身地:東京都

血液型:B型

資格:介護職員初任者研修修了

広報誌「ライジング・サン」のバックナンバーは、弊社ホームページでもご覧いただけます。

ぜひお立ち寄り下さいませ。 <http://www.samaba.jp/back-number/>